

講義名	商品開発特別研究B / 商品開発特別研究			授業形態	
担当教員	廣田 章光	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限 / 後期 火曜日 4時限		
		単位数	4	履修開始年次	2年生
				ナンバリング・コード	CSM241

主題と概要

商品開発理論と開発の知識を獲得する。
デザイン思考の手前にもつづき、顧客観察からの気づき発見、気づきからニーズ洞察、洞察から問題の解決提示の手順を習得する。最新の製品開発を実態を共有しながら、製品開発の基本的な理論を、実際の製品開発の関わりを含め講義を進める。理解促進のため課題提出を求めるとともに、講義中はテキスト内容の確認、グループワーク、討議、報告をベースに進行する

定時スタートを実施。
チームでの議論を通じて、調査、分析、プロトタイプ、テストを実施するため、欠席、遅刻、早退は他のメンバーに迷惑をかけること、講義についていけない。そのため講義を真実に聞きたい学生が満足できる環境をつくり、講義を行うことが私の使命。講義中の私語をはじめ、真剣に講義を聞く学生の環境を妨げる行為には厳しく対応。例えば、私語をしたい場合は講義を欠席して、各室等で行うこと

テキストベースに講義を進める
テキストをもとに講義を進めますので、テキスト（『デザイン思考 マインドセット+スキルセット。』日本経済新聞出版社の購入をお願いします）

オンラインホワイトボードを使用するためパソコンもしくはタブレット、の持参をお願いします

到達目標

マーケティング、マーケティング・リサーチ、観察法、デザイン思考の手法を統合し創造能力の基礎能力を獲得する。

提出課題

講義中に学習到達確認ポイントの説明
講義毎にミニレポートを作成し、その積み上げて最終レポートの提出につながる構成

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各講義でのグループワーク及びプレゼンテーション時に問題点、優位点をフィードバック

評価の基準

毎回の講義での課題提出と中間報告（ともに期限を過ぎた提出は認めない） 30%
テーマ・与件に従った製品企画書（期限を過ぎた提出は認めない） 70%
いい加減なレポートを提出して、最後にお願されても一切認めないことを承知の上、履修すること
講義を真実に聞きたい学生が満足できる環境をつくり、講義を行うことが私の使命。講義中の私語をはじめ、真剣に講義を聞く学生の環境を妨げる行為には厳しく対応。例えば、私語をしたい場合は講義を欠席して、各室等で行うこと
真面目に取り組む学生を中心に講義を進めます

履修にあたっての注意・助言他

定時スタートを実施
講義外の学修として講義外で全員、課題としての情報収集、調査、資料としてのまとめを毎回実施します。毎回、まとめた資料を持参し、講義中に報告、討議、まとめをします。課題準備ができていない学生は他の学生の進捗になりますので注意してください。

チームでの議論を通じて、調査、分析、プロトタイプ、テストを実施するため、欠席、遅刻、早退は他のメンバーに迷惑をかけること、講義についていけない。そのため講義を真実に聞きたい学生が満足できる環境をつくり、講義を行うことが私の使命。講義中の私語をはじめ、真剣に講義を聞く学生の環境を妨げる行為には厳しく対応。例えば、私語をしたい場合は講義を欠席して、各室等で行うこと

履修スタイル履修だけ、参加だけでは、単位取得はできない。
毎回のグループワークへの貢献、質問、プレゼンテーションがもとめられ、そのため事前調査などのワークが実施できないと単位取得は難しい。
マーケティング、マーケティング・リサーチの講義の単位取得を希望していることが望ましい。

教科書

『デザイン思考 マインドセット+スキルセット。』	廣田章光	日本経済新聞出版社	2200	9784296115464
--------------------------	------	-----------	------	---------------

参考図書

『1からの商品企画。』	西川英彦・廣田章光	碩学舎	2400	9784502693007
-------------	-----------	-----	------	---------------

その他

授業計画

第1回、第2回 講義の進め方と約束、この講義であなたに身に付くこと、講義の全体像
予習内容：シラバスを確認し、この講義で身につけたことのリストを準備(120分)
復習内容：設問を一つ選択し、講義内容とテキスト内容をもとに解答を作成(120分)

第3回、第4回 商品企画プロセス：人間中心の思考
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第5回、第6回 インタビュー法
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：インタビューの目的に応じたインタビューデザインを作成する。振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第7回、第8回 観察法：IDEO「ATM」
予習内容：観察調査の目的に応じたキャンパス内での観察実施のための、デザインを作成する。配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：指定した動画を視聴し、振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第9回、第10回 リード・ユーザー法
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：振り返りシートに基づき、リード・ユーザー法による製品開発、仕組みの事例を確認する。その上で、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第11回、第12回 アイデア創出
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：ワークシートに基づき、マインドマップを使ったアイデア創出を試験し、気づきをメモする。振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第13回、第14回 コンセプト開発
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：講義およびテキスト内容をもとにコンセプト創出した製品、サービスを調査する。振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第15回、第16回 プロトタイプ：IDEO「ショッピング・カート」
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：指定された動画を視聴し、設問に回答する。さらに、振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第17回、第18回 市場規模の確認
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：設問を1つ選んで、回答する。振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第19回、第20回 顧客ニーズの確認：バズ法、バズルビース法、リブレース法、キャスト法などの実践的手法も紹介。
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：指定された動画を視聴し、設問に回答する。振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第21回、第22回 価格と市場導入プラン
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)
復習内容：振り返りシートに基づき、本日の講義内容とテキスト内容をもとにレポートを作成、提出する(120分)

第23回、第24回 中間報告とフィードバック
予習内容：配信する資料を確認し、テキストの該当箇所を手がかりに提示する設問への解答を作成する(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー
(3) 創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材
新しい視点と豊かな発想によって、新しい価値を生み出すことができる

(2) 知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人材（課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集、調査、整理することができる（情報収集力）
現象や事象のなかから隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や段取りを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）
の達成に関与しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

オンラインホワイトボードを使って毎回の講義、アイデアを継続的に蓄積できるようにする
パソコンあるいはタブレットを毎回使用する

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
実践で課題になるポイントなどを提示し、適時助言、フィードバックを実施

備考

欠席、遅刻無く出席すること
毎回実施する事前の調査資料作成と、講義中のコメントなどをともにテキストの内容を踏まえて資料の作成をオンラインホワイトボードに提示すること
テキストを事前購入のこと